

WEEKLY REPORT

No.1572

<本年度クラブ会長方針>

変革の第一歩を。  
更なる魅力あるクラブへ、結束、共に行動を!

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日12:30 例会場 名古屋東急ホテル  
会長 春日井和良 事務局 名古屋市中区栄4-7-10 栄第8ロイヤルビル6F  
幹事 近藤明美 電話(052)251-0181 FAX(052)251-0337 〒460-0008  
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

奉仕しよう みんなの  
人生を豊かにするために

<2021-22年度 R.I.テーマ>  
R.I.会長 シェカール・メータ

第1846回例会

母子の健康月間

令和4年4月7日(木)

SPEAK OUT DAY

於 名古屋東急ホテル

会員 54名

出席計算数

54名中 54名出席  
出席率 100%

前々回出席率 100%

例会プログラム

★ロータリー財団PHF表彰

・バツジの進呈

★木村吉伸さん

・葬儀報告とお礼

★岡村社会奉仕委員長

・「お帰りのなごいー国生口日記」

★大須小学校感想文の報告

★川合青少年奉仕副委員長

・「黒板アート」活動報告

★堀江国際奉仕委員長

・グローバル補助金事業

★活動報告・感謝状披露

★堀江英弥さん

・創立30周年記念植樹  
大須観音しだれ桜観桜会報告

★誕生日のお祝い

★SPEAK OUT DAY

ロータリーソング

「君が代」「四つのアスト」

(歌唱なし)

二ホックス

黒板アート無事終了しました。川合さんお疲れさまでした。

近藤 明美

大須観音しだれ桜観桜会ありがとうございました。(残金です。)

堀江 英弥

横井さんありがとうございました。小笠原和俊誕生月・結婚月です。息子が研修を終えて親子3人緊張感を持って楽しく仕事をしています。念願が叶って感謝です。

大原 敏正

黒板アート無事終わりました。高木さん、近藤明美幹事、近藤宏一郎さん、協力ありがとうございました。

川合 美幸

高木 政義  
飯田 昭夫  
大須小学校に通う長男、長女が黒板アート感激しておりました。青少年奉仕委員会の皆様ありがとうございました。

岡部 快雅

ヒルウォーキングクラブの皆様、本日はよろしくお願ひします。

木村 吉伸

4月から女子大生になりました。学割とシニア割を使いこなしてがんばります。

照井 葉

結婚記念月です。家族旅行、コロナにより行程が定まりませんが、よろしくお願ひします。横川 誠人 本日孫が小学一年生になりました。

川畑 博敬

藤田さん会社見学大変勉強になりました。お礼申し上げます。

池田 修人

4月1日新会員歓迎会に参加ありがとうございました。林 順治 新会員歓迎会ありがとうございました。

深谷 昭広

浅野さん、先週金曜日は大変お世話になりました。加藤巳千彦 本日はありがとうございました。

堀江 英弥

会長挨拶

春日井和良

皆さん、こんにちは！申し訳ありません。今日はリモートで挨拶をさせて頂きます。特別室ではありませんが、シャワー・トイレ付きの個室から、パジャマ姿座ったままで失礼させて頂きます。又、今週月曜から、治療の為、来週火曜日迄の短期入院をしております。今回は、次の段階の免疫療法による治療の予定だったので、前回の放射線治療の副作用、放射線肺臓炎を発症してしまい、それが完治しないと免疫療法に移れないと言ったことで、今回は急遽、肺炎の治療での入院になってしまいました。でも、症状はほんとに軽いので、こうして挨拶をさせて頂きます。よろしくお願ひいたします。

さて、私を含め一部の皆さんには、先週はちょっと忙しい一週間



だったと思います。先週の例会は例会変更、藤田螺子工業 岡崎工場 への職場訪問でした。岡崎工場の皆さんには、お忙しい中本場に懇切丁寧な対応をして頂き、参加された会員の皆さんからも大変良かったとの感想が多く聞かれました。お土産まで頂戴して、藤田さん、本当にお世話になり、ありがとうございました。また、職業奉仕 杉本委員長には、本当にお疲れ様でした。そして、翌日は蟹城園での新会員歓迎会でした。多くの方が参加されて、久しぶりにおいしい料理と美酒で大変盛り上がりました。新会員の大西さん、新井さん、松井さん、深谷さんには大須ロータリーの雰囲気、良さの一端を感じ取って頂けたのではないかなと思います。大須ロータリーの一員として少しでも早く慣れて頂き、活躍されるのを期待しています。そして、申し訳なく、歓迎会をしてい

ない仲林さん、松岡さん、岡部快雅さん、池田さんも、参加して頂き同様に改めて大須の良さを感じて貰えたと思います。会員組織、林委員長には会の手配段取りから司会進行まで大変お疲れ様でした。

また週末土曜日には、3年ぶりに大須観音しだれ桜観桜会が開かれました。創立30周年の記念の際に植樹された、しだれ桜が久し振りに花を付けました。桜と大須商店街のB級グルメを着に有志の皆さん、これまた大変盛り上がりました。発起人の堀江さん、前田さん始め準備に関わって頂いた皆さんお疲れ様でした。また、岡部快雅さんには会場の後片付けまで、大変お世話になりました。

今回、歓迎会、観桜会と、こういった飲み会が久し振りでしたら、やっぱり、対面して酒を酌み交わしながら、ワイワイやるのが一番。つくづく感じたことなのです。コロナもいよいよ減ってきて欲しいですが、残念ながら、当面暫くはウイズコロナ



で我慢しようか。変わります。今週4日月曜日には、青年奉仕委員会による黒板アートが

大須小学校の150周年記念事業として実施されました。愛知県立芸術大学の協力で、芸大の学生さん達により、各学年の教室の黒板にチヨークによる芸術作品がそれぞれ描かれました。芸大の学生さんたちの力作は夕方迄、丸一日掛かったそうです。また、中日新聞とNHKの取材もあつたそうです。丁度、今日の朝刊、県内版に載っていました。またNHKは夕方6時半からの放映予定。新聞の番組表にも載ってましたから間違いないと思います。是非みて頂きたいと思います。尚、児童の皆さんへは、先日の入学式と今日の始業式に披露され、驚きと感動で大変好評だったそうです。青少年奉仕委員会、川合美幸さん本当にお疲れ様でした。また、援助、サポートされた高木政義さん、お世話になりました。

さて、今日はこの後、シヨート卓話、ヒルウォーキングクラブの活動報告があるそうです。何を隠そう、私もヒルウォーキングの一員なんです。ロータリー入会後に誘われまして、行き先が鈴鹿の山だと言っていて初参加しました。ヒルウォーキングと言いつつくらいだから、ちょっとした山歩きだろうと軽い気持ちで参加したらこれが大間違いでした。その時はシーズンにスニーカーという出で立ちで出かけたんです。集会所でバス

に乗り込んだら、いきなり今は退会された浅井隆宣さんから、「おい、春日井君、えらい軽装だな」と言われまして、見渡すと、皆さん、装備が違つんですね。浅井さんの一言と、不安の中で出発した最初の山歩きのことば忘れられません。案の定、山歩きと言つより岩場もあり、まさに山登りでした。帰りの下山では一時雨にも遭つて、履いてきたスニーカーはドロドロになりその日で捨てる羽目になりました。ヒルウォーキングでなく、ワンゲルか山岳会としたほうが良いと今でも思っています。でも、山登りの後の温泉と宴会が山行の大きな楽しみ、目的になっているようです。顧問の尾上さん、会長、岡村さん、幹事の岡田さん、顔ぶれを見れば想像できますよね。

また、ヒルウォーキングクラブでは、海外遠征や国内でも思いもよらない、自身ではとても行けないようなところへ連れて行って貰えます。私が最も感動したのは、台湾遠征、富士山より高い4km超の山、玉山への登頂、そして3年前に行った小笠原、海と山、素晴らしい体験をさせて貰いました。詳しい話は前田さんからあると思います。乞うご期待です。

桜も散り始め、ほかほか陽気、春本番の感です。歓迎会やお出掛けの機会が増えるかと思いますが感染対策は万全に、くれぐれも注意をなさつてお過ごし下さい。来週にはまたホテルの例会場に戻つて来ます。皆さんと直にお会いできるのを楽しみにしております。今日は病室から大変失礼を致しました。ありがとうございます。

ヒルウォーキングクラブ活動報告  
「24年目の大須ヒルウォーキングクラブ」  
前田 隆久さん

ヒルウォーキングクラブは、ロータリークラブの同好会としては稀な活動をしているクラブで、東海地方の山をベースとして、中央アルプス、北アルプス、遠くはアジアの山へとステージを拡げて登山を楽しんでいます。



1998年、歯科医の高木哲朗さん(退会)の会長年度に、高木さん、久保田さん(退会)、尾上さんの三名が発起



人と作り設立されました。その後、鈴鹿の山を中心に山行を重ね、2011年、総勢37名で登った富士山をきっかけに、2年後の2013年から、アジアの最高峰・名峰を目指してというコンセプトで毎年海外登山を行つて来ています。

- 2013年 玉山(台湾)
- 2014年 ハルラ山(韓国)
- 2015年 〃 〃
- 2016年 アンナプルナ トレッキング(ネパール)
- 2017年 アバチャ山 (ロシア・カムチャッカ)
- 2018年 〃 〃
- 2019年 乳房山(小笠原)
- 2020年 〃 〃
- 2020年 はベトナムの最高峰・ファンシーパン山に行く予定で準備を進めて来ましたが、新型コロナウイルスのため中止となりました。コロナもまだまだ予断を許さない状況ですが、そろそろ活動を始めようと思えます。是非、皆さん一緒に山に登りましょう。

ロータリー財団PRDF表彰

バッジの進呈

ポール・ハリス・フェロー

(1回目)

木村 吉伸さん  
松岡 毅さん  
仲林 宏昌さん  
(2名)



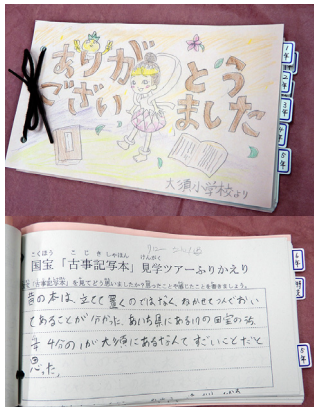
ロータリー財団よりポール・ハリス・フェロー認証バッジが贈られ、藤田淑副会長より手渡されました。寄付を頂きありがとうございました。

ポール・ハリス・フェロー  
年次基金 ポリオプラス 承認された財団補助金のいすれかに1,000ドル以上を寄付した方。

「お帰りのさいー国王手記」

大須小学校感想文の報告

社会奉仕委員長 岡村 隆徳



「黒板アート」育てよう小さなアートマインド」

青少年奉仕副委員長 川合 美幸



昨年度、青少年奉仕委員会が実施し好評を得ていた「黒板アート」を、今年度は我がクラブの地元、大須小学校の150周年記念行事として企画しました。



作品は1級ずつある1〜6年の各教室の黒板にチョークを使って描かれ、昨日6日の入学式と本日7日の始業式で全校生徒にお披露目されました。

制作は昨年同様、愛知県立芸術大学(長久手市)在学生7名、油絵専攻の学生に今年度は日本画専攻の学生も加わり、非常に立派な作品が出来上がりました。

小澤さんの計らいで中日新聞の取材も受け今朝の新聞にも取り上げて頂くことができました。また今日夕方NHKのニュース番組でも放送予定です。そちらも是非ご覧下さい。

児童にとつて身近な存在のチョークが素晴らしい絵に変身することを体験し芸術への関心を高めることもコロナ禍での心のケアに携わった美大生にとっても、芸術を通じて地域社会に貢献する貴重な体験になったことと思います。



もなつたと思います。また制作に携わった美大生にとっても、芸術を通じて地域社会に貢献する貴重な体験になったことと思います。

国際奉仕委員会

活動報告・感謝状披露

国際奉仕委員長 堀江 英弥

友好提携クラブ・台湾桃園西門RC  
創立13周年の報告

台湾桃園西門RCは4月2日に創立13年を迎え、記念例会が開催されました。当日は名古屋大須RC春日井会長からもお祝いのメッセージの動画が配信されました。

グローバル補助金事業完成の報告

今年度グローバル補助金事業として実施クラブ桃園西門RCと協力5RCにて実施しました「台湾新竹県尖石郷飲用水浄水システム計画」が完成し、3月18日に贈呈式が行われました。本来なら、我々も参加予定でしたが、コロナの関

係で残念ながら参加できませんでしたが、渡航規制が無くなりましたら皆さん方と訪問したいと思っていますので宜しくお願ひ致します。当日感謝状をいただきましたのでご披露させていただきます。



新入会員卓話(3月17日例会)

「私の原点」

榎井 健さん

この度は私の入会にお許しを頂き誠にありがとうございました。先日例会にてあいさつさせて頂きました。改めて御礼申し上げます。今後長くお付き合い頂く皆様に私の事を知って頂く為、本日は退屈しようが私の話を聞いて頂けたらと思います。

私は愛知県の新城市という所で生まれました。その新城市の中でも特に山の中で育ちました。遊ぶものといえは山の中で、あるいは川でと自然の中で過ごしました。私は子供の頃持病もあり、身体の

弱い子でしたが、そうした環境の中で育ったおかげか体力も付き今では普通に暮らせるようになりました。大学合格と共に名古屋に出でまいりまして現在に至っております。

私の実家は以前酪農を営んでおりました。父と母の休みなく働く姿を見て育ちました。自然そして生き物が相手の仕事の大変さを小さいながら感じておりました。

毎日朝牛舎に行き、牛に餌をやり、世話をし、空いた時間は畑で農作業。夕方になるとまた餌をやり家に帰る。幼いながらもそうした姿を見て「毎日同じことをして嫌にならないの?」と尋ねてしまったことがあります。今にして思えばとてもひどいことを言ってしまったと思います。しかし父はこう言いました。

「毎日当たり前のことを当たり前に繰り返すことはつまらないことに見えるかもしれないけどとても大切な事だぞ」と説いてくれました。牛はエサをやらなければ死んでしまいます。田んぼに水が張っていないれば稲は枯れてしまいます。当たり前のことです。これはもちろん例えですが、どんな仕事でもおろそかにしてはいけません。事はあると思います。ですが、子供の私には何を言っているのかよくわかりませんでした。私の父はいわゆる昭和の親父の典型のような



人で、明るくも厳しさを持った人だったと思います。そういうタイプの父だったので、あまりそういう話はいした覚えがありませんが、そんな父が言ったある日常の一言が今でも私の仕事に対する信念となっていると思います。小さなことでも毎日繰り返している時は「まあ良いか」と済ませてしまいうことがあります。楽だからです。しかしそれでは大きな達成は成しえないと父は教えてくれていたような気がします。

ませてしまったかなと思います。当時バブル期でもあり何かできそうな気がしていたのです。しかし現実には甘くないですよ。

そうして始まった学生生活ですが、田舎から出てきた子供にとっては毎日が華やかで刺激的でした。最初は戸惑いもありましたが、日がたつにつれて馴染んでいくことが出来ました。学校に、アルバイトに毎日楽しめるようになりました。その頃知合った現在も付き合いの続く素晴らしい友人、先輩に恵まれたことは宝物になっています。

アルバイトは接客業が多かったのですが当初引込み思案だった私が、人とのコミュニケーションが取れるようになったのも、店主先輩の指導の下、仕事を成立させるためにはどのように相手に気配りしていけば良いか、みんなが気持ち良く過ごしてもらうにはどのような段取りしていけば良いか等多くを学ばせて頂きました。私の今の下地はこのころ形成されたような気がします。

その後縁あって会社員になり、当初は旅行会社に勤務しました。当時私は旅行などしたことなどなかったなかでの就職でした。自分は何て何も知らないのだらうと思いましたが、旅行に関する事ももちろんですが、初めての会社勤め、会社員としての心得もありませんでした。文字通りの井の中の蛙だったのです。

こので私はまた色々な経験を積ませてもらいました。国内、海外の人々との出会い、体験は小さな考えにとらわれていた私を根本から変えてくれたと思います。

その後旅行会社を運営していた会社から不動産業も営んでいたこともあり、そこで建築事業部が新設される事になり、異動になりました。何もわからない毎日の中で、自分の仕事も形となって残ることに感動し、夢中になりました。元々建築に興味があったことも関係していると思います。最初は簡単な内装に始まり、徐々にアパートの入退去時の工事、店舗、住宅等色々なことになっていくようになりました。

特に店舗の仕事を手掛けるようになってからは若くて元気だったこともあり、本場に全国色々な所で仕事をさせてもらいました。その経験は単に仕事としての経験だけでなく、仕事を通じてですが、様々な人との出会い、気づきを私に与えてくれました。

その後独立し、今の会社を始めました。最初は一人で始めた会社です。がむしゃらに働きました。うまくいかないことも多々ありましたが、いやになってしまつ事もありませんでしたが、家族、諸先輩方、友人、いろいろな方に叱咤激励して頂きここまで来ることが出来ました。今では大阪、和歌山に支店を出し、住宅、店舗、老人介護施設、共

同住宅、土木工事の請負までできるようにになりました。ひとえに協力し、助けて下さる皆様に支えて頂いているからだと思っています。

しかし、そうして日々の仕事を進めておられますと、「いい、まあいいか」と済ませてしまっている自分に気づきました。会社を始めた時、固く心に誓ったはずの大事なものを大して忙しくもないうせに、忙しいと言いついて忘れてしまっていたのです。愕然としました。これではいけないと思い自分を律することはもちろん社員にも徹底させています。

今後は社員、協力して下さる方々と共に益々発展し、第一は取引先様、ひいては地域、世の中、何か少しでも貢献できる企業を目指していけたらと思っています。現在私は56歳です。残り10年、15年と考えると後進の事も考えなければいけない年になったのかなと思います。私に倣ってくださる方々が少しでも幸せな気分になって頂けるよう努力していきたいと思っています。

農家を継いでほしかった両親に息子は名古屋で両親の教えの下に仕事をしていると思ってもらえればと思います。もう両親も他界し、その思いを聞くことはありませんが、そう報告しているような気持ちで毎日仕事をしています。

そしていつも両親の教えである当りの前の事を当たり前にできるその教えを決して忘れずに精進していこうと思っています。

それは忘れてはいけない私の原点であり、これからも続く毎日「コツコツと積み上げていく約束だ」と思い努力する毎日を過ごしていきたいと思っています。

つたない話で、はなはだ申し訳ありませんでしたが、本日の私の話はこれで終わらせて頂きます。ありがとうございました。

**4月21日(木) 例会の案内**

例会変更 4月23日(土)

春の家族旅行

「リニア・鉄道館見学＆クルージング」

集合：名古屋駅構内・銀の時計

※新幹線改札前 11時00分

◆送迎：さくらまなび乗船場

(名古屋市中川区河野町5丁目38番)

09時30分

行先：リニア・鉄道館(後全線開通)、クルーズ名古屋観光船

**4月28日(木) 例会の案内**

定款規定により休会(祭日週)

**5月5日(木) 例会の案内**

法定休日(5月6日)

公共イメーシング向上委員会

川島 勇基・内藤 明

近藤宏一郎

\*本文は、原則 頂いた原稿を転載しています。